



結核はまだまだ身近な病気です 予防しよう 身近な呼吸器感染症

令和6年9月25日
富山県感染症情報センター
(富山県衛生研究所内)
(0766-56-5431 直通)

感染症発生動向速報

(令和6年第38週分・9月16日～9月22日)

《インフォメーション》

●結核・呼吸器感染症予防週間(9/24～9/30)

厚生労働省は、今年度より9/24～9/30を「結核予防週間」から「結核・呼吸器感染症予防週間」と定め、国民に対し、結核と呼吸器感染症に関する正しい知識の普及啓発を実施しています。

結核は、結核菌を原因とする感染症です。結核を発病して排菌している人の咳などを介して空気感染しますが、感染しても通常は免疫により菌の増殖が抑えられるため、感染者の8～9割は発病することなく一生を過ごします。一方、感染者の1～2割は感染後6ヵ月～2年までに発病もしくは加齢などにより免疫力が低下した際に発病します。

結核の初期症状は、咳、痰、発熱(微熱)などで風邪と同様の症状として見逃されがちですが、このような症状が2週間以上続く場合は結核を疑い受診しましょう。発病してしまうと身近な人に感染を拡大させる可能性があるため、早期発見、早期治療が重要です。

呼吸器感染症は、結核以外にインフルエンザや新型コロナウイルス感染症、肺炎球菌性肺炎やマイコプラズマ肺炎など様々なものがあります。多くは、感染した人の咳やくしゃみによる飛沫感染や、接触感染により感染し、かぜや咽頭炎、気管支炎、肺炎等の症状が現れます。

結核も呼吸器感染症も、予防対策の基本は「手洗い」や「マスクの着用を含む咳エチケット」、そして日常的な健康管理です。感染を拡げないために、咳やくしゃみをするときにはマスクやハンカチなどで鼻と口を覆い手洗いや消毒をしましょう。また、ワクチンを接種することで発病や重症化を防ぐことが期待できるものがあります。特に結核では、乳幼児の場合抵抗力が弱く、感染すると全身に広がり、重症化する可能性があります。BCGワクチンは結核の発症予防効果があるとされていますので、乳幼児は定期接種対象年齢(推奨時期:生後5～8ヵ月未満)にBCGワクチンの接種を受けましょう。また、高齢者等においては、重症化予防のためインフルエンザや新型コロナ等のワクチンの定期接種もご検討ください。

呼吸器感染症が例年流行する秋・冬前だからこそ、マスク着用を含む咳エチケット、手洗い・手指消毒、換気など基本的な感染対策を心がけましょう。

富山県の啓発ページ: <https://www.pref.toyama.jp/120507/kurashi/kenkou/kenkou/kekaku/kekakuyobousyuukan2024.html>

《全数報告の感染症》

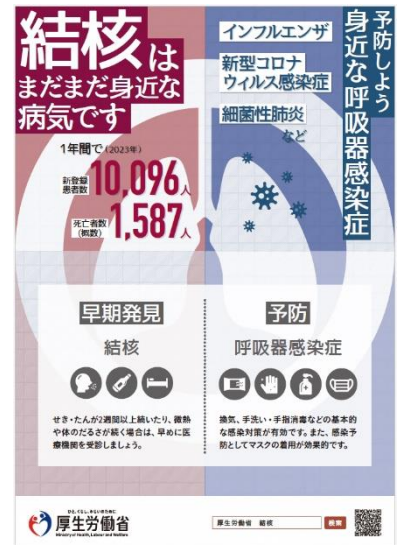
- 二類感染症 結核 1件(第37週診断分:80歳代、男性)
- 三類感染症 腸管出血性大腸菌感染症 2件(①10歳代、男性、O18、VT2 ②20歳代、男性、O157、VT1VT2)
- 四類感染症 E型肝炎 1件(60歳代、女性)
- 五類感染症 梅毒 4件(①第37週診断分:30歳代、男性、無症候
②30歳代 ③40歳代 ④40歳代 ②～④全て男性、早期顕症梅毒I期)

《定点報告の感染症》

今週の富山県内上位6疾患		定点あたりの数	
順位	疾病名	今週(増減)	先週
1位	手足口病	17.62(↓)	21.41
2位	COVID-19	4.13(↓)	5.33
3位	感染性胃腸炎	2.90(↓)	2.93
4位	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.90(↓)	2.79
5位	マイコプラズマ肺炎	1.00(↓)	1.40
6位	RSウイルス感染症	0.90(↑)	0.72

富山県感染症情報センターURL: <https://www.pref.toyama.jp/1279/kansen/>

※第9週分以降、URLが変わりました



厚生労働省普及啓発ポスター



○感染症発生動向調査報告状況（令和6年第38週 令和6年9月16日～令和6年9月22日）

分類	疾患	今週報告分（第38週）					累積報告数（令和6年第1週（1月1日）～）						
		新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	計
二類感染症	結核							11	5	28	8	39	91
	（再掲）結核：無症状病原体保有者を除く							7	4	14	6	23	54
三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症			2			2	2	7	3	6	18	
四類感染症	E型肝炎					1	1				2	2	
	ポツリヌス症										4	4	
	レジオネラ症							3	2	9	3	17	34
五類感染症	アメーバ赤痢											3	3
	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症							2		4		8	14
	急性脳炎									1		1	2
	クロイツフェルト・ヤコブ病											1	1
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症							1		4	1	9	15
	後天性免疫不全症候群（HIV感染症を含む）										1	3	4
	ジアルジア症											1	1
	侵襲性インフルエンザ菌感染症									3	1	5	9
	侵襲性髄膜炎菌感染症											1	1
	侵襲性肺炎球菌感染症							2		1		4	7
	水痘（入院例）							1	1				2
	梅毒					3	3	2		6	5	18	31
	播種性クリプトコックス症											1	1
	破傷風									2			2
	百日咳											1	1
	インフルエンザ／COVID-19定点（48定点）	インフルエンザ	3					3	1,083	1,032	4,044	1,567	5,076
COVID-19		0.43					0.06						
小児科定点（29定点）	RSウイルス感染症	50	25	57	33	33	198	2,327	1,201	3,830	2,109	3,129	12,596
	咽頭結膜熱	7.14	5.00	4.38	4.71	2.06	4.13						
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2		8	12	4	26	70	71	598	64	463	1,266
	感染性胃腸炎	0.50		1.00	3.00	0.40	0.90						
	水痘	2	2	3		4	11	118	259	692	39	706	1,814
	手足口病	0.50	0.67	0.38		0.40	0.38						
	伝染性紅斑	3	1	19	2	30	55	188	171	2,822	316	1,339	4,836
	突発性発しん	0.75	0.33	2.38	0.50	3.00	1.90						
	ヘルパンギーナ	19	9	11	2	43	84	849	663	1,479	680	3,524	7,195
	流行性耳下腺炎	4.75	3.00	1.38	0.50	4.30	2.90						
	急性出血性結膜炎		1			1	2	2	17	117	14	77	227
	流行性角結膜炎		0.33			0.10	0.07						
	無菌性髄膜炎	15	61	198	30	207	511	146	468	2,523	475	2,245	5,857
	マイコプラズマ肺炎	3.75	20.33	24.75	7.50	20.70	17.62						
	感染性胃腸炎（ロタウイルス）		2				2	1	4	8	2	9	24
	眼科定点（7定点）	突発性発しん			2		2	4	9	13	114	30	106
基幹定点（5定点）	ヘルパンギーナ			0.25		0.20	0.14						
	流行性耳下腺炎	1	4	4	3	8	20	79	26	99	79	220	503
	急性出血性結膜炎	0.25	1.33	0.50	0.75	0.80	0.69						
入院サーベイランス（5定点）	流行性耳下腺炎				1	1	2	3	1	7	3	9	23
	無菌性髄膜炎										3	3	
入院サーベイランス（5定点）	マイコプラズマ肺炎	1	1		1	2	5	1	6	25	6	12	50
	感染性胃腸炎（ロタウイルス）	1.00	1.00		1.00	2.00	1.00			1			1
入院サーベイランス（5定点）	インフルエンザによる入院患者（※1）												0
	COVID-19による入院患者	2	2	3	6	15	28	211	159	192	233	558	1,353

本週報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。

※1 インフルエンザによる入院患者累計報告数は、令和6年第36週（9月2日）～の集計です。

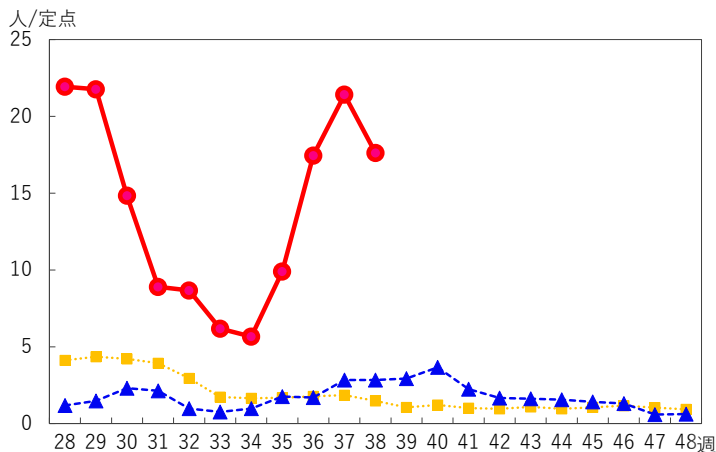
今週の富山県内上位6疾患（定点把握）

2024（令和6）年 第38週（9月16日（月）～9月22日（日））

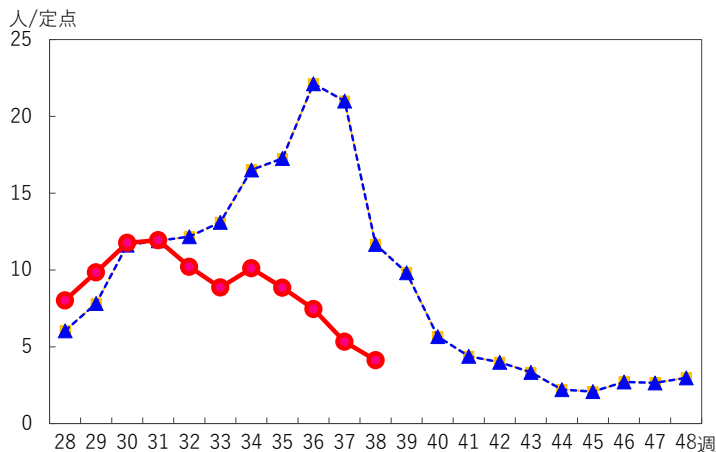
9月25日時点速報値

● 現在 ▲ 前年 ■ 過去10年平均

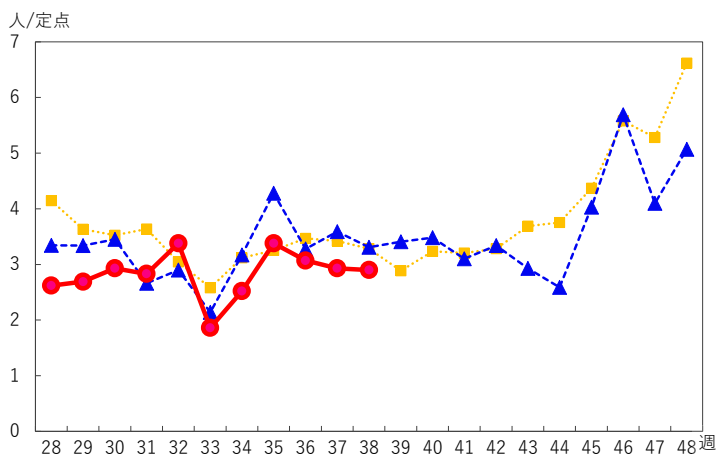
手足口病



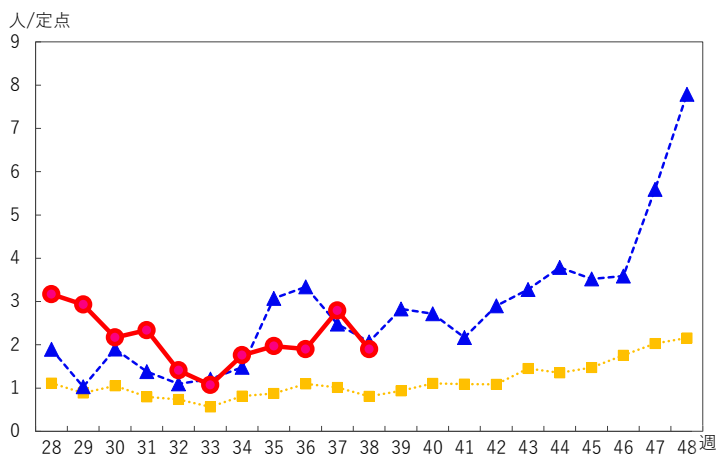
COVID-19



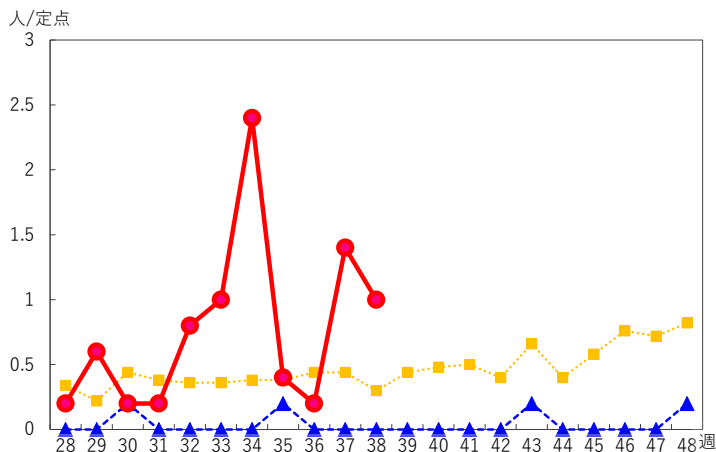
感染性胃腸炎



A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



マイコプラズマ肺炎



RSウイルス感染症

